

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:www.hokjioka.net E-mail : [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

支援会員・寄金 3,000円 (年額)  
\*会員には、本通信を配布します。



《写真説明》'15.4/3-4

「春休みレク」

年度替り企画:子ども館と一緒に  
に余市一泊/農場の坂から

INDEX

P1: 巻頭言/ **追悼特集**

P2-7: ヒューマンイラスト/  
「鈴木さんを語る」

菊地大、加藤多一、間宮正幸、  
原和江、の皆さん

p4-5: 卒業・修業のつどい

p8: 会員等の声、会費納入他

## 『陽はまた昇る』社会づくりへ

株式会社和光 代表取締役会長 田中傅右衛門

鈴木秀一先生にこの世でもうお会いできないと思うと、とても寂しい気で一杯です。知らず知らずの間に大きな存在になっていました。出会いは30年近く前に一昨年2月に故人となられました中小企業家同友会大久保尚孝専務と北大教育学部へお伺いした時が最初でした。その時はまだ、遠い存在でしたが、私が中小企業家同友会の役員をするに伴い、故西村信代表理事の代わりに認定NPO法人北海道自由が丘学園の理事の一人として参加する事となり、近しく接する機会が多くなりました。先生の生徒さん、一人ひとりに視線を合わせて“共に学ぶ姿勢”で接する謙虚で誠実なお人柄に感動したものです。又、サンプラザで開催された、先生ご執筆の『陽はまた昇る』出版記念祝賀パーティでは実行委員長を仰せつかり、その時の嬉しそうなお姿を思い出します。

先生のご功績は沢山あると思いますが2008年に小樽共育の森学園(小樽明峰高校)の理事長として少子高齢化人口減少の激しい小樽市において見事、学校再建を果たしたことです。もちろん、吉野事務局長の優れた経営手腕と教職員の並々ならぬ奮闘ぶりがありましたが、その根本には先生の“徹底した生徒の立場にたった教育理念”があつてこそその学校再建でありました。先生の教育理念の薫陶に触れて教職員の皆さんが変わり、生徒が変わり、学校が変わっていく様をしっかりと拝見し、トップの理念の大切さを痛感致しました。先生と共育の森学園との関わりは数年間と短い間でしたが晩年の教育理念実践の集大成であつたように思います。今、日本社会は、資本原理主義的で強いものをより強くする傾向あり、一度、挫折した「下位」の高校は消滅させられる運命にあつたはずでしたが、立派によみがえりました。その功績は大なるものがあります。小樽市に縁の深い人間の一人として心から感謝の念に絶えません。誠に有難う御座いました。これから私も先生のご意志を引き継ぎ「陽はまた昇る社会」になり心豊かな社会になるように微力ながら努力する所存です。

心より鈴木秀一先生のご冥福をお祈り致します。(注:筆者は本NPO法人副理事長、中小企業家同友会役員)